

特定非営利活動法人お口の健康ネットワーク 第23回理事会議事録

1. 日時 2020年6月14日(日) 13:00~15:40

2. 場所 Webによるビデオ会議 (zoom利用)

3. 開会 定足数報告

理事総数、出席者数は次の通りである。

理事総数：18名、出席者：17名

出席者：旭律雄、伊佐津和朗、磯崎篤則、木村年秀、楠本雅子、黒瀬真由美、小畑文也、小林崇之、津野敬一郎、友藤孝明、中村宗達、長浦寛子、丸岡三紗、宗形信司、森田学、守屋啓吾、山口一郎
(事務局) 草野栄路

4. 理事長挨拶

磯崎理事長：皆様ご参加いただきありがとうございます。今回はネットでの開催になりました。今後理事会、あるいは委員会でもこういった形で行えば審議もスムーズにできるのではと考えています。よろしくをお願いします。

5. 議事録署名人選出

磯崎理事長より、議事録署名人を伊佐津理事と木村理事とすることが提案され、承認された。

6. 報告事項

6-1. 会員数 (事務局)

区分		2019/7/31	入会	再入会	退会	団体→個人	個人→団体	2020/6/2		
		11期末 ①	②	③	④	⑤	⑥	①+②+③-④+⑥	会費未納	
正会員	団体会員	388	12	1	12			389	36(13)	
	個人会員	歯科医師・医師	43	0	1	3			41	4(3)
		歯科衛生士	241	29	1	20			251	14(4)
		他	4	1				-1(賛助へ)	4	0
賛助会員		1					1	2	0	
計		677	42	3	-35			687	54(20)	

※会費未納のカッコ内の数字は、2期未納の会員数

事務局より、表に基づき会員数の推移について報告があった。

理事長：セミナー参加時に入会というケースが多いので、行事が中止になると会員数が減少する恐れがあるか？

草野：その通りで、会員増加の機会が少なくなっているということと言えます。

6-2. 活動状況及び収支状況 (事務局)

事務局より、以下の報告があった。

- ・収支状況別紙（資料1）
- ・2020年3月25日 会報第39号発行
- ・2020年3月 新リーフレット、ポスター制作
- ・2020年4月12日 お口の健康フェスティバル（長崎）：中止
- ・2020年6月7日、7月12日 大阪セミナー：中止決定

草野：今期の最終収支予想は30万円程度のプラスを見込んでいます。

小畑理事：WEB会議開催にあたって発生した経費はあるか？

草野：ありません。

旭理事：地元の歯科医師会でもzoom等を使い始めているが、そうすると「会費がもう少し安くないのか？」という意見が出てきている。今期は大きな問題はないと思うが、今後従来のセミナー以外の活動を充実させる必要があるのではないか。

森田副理事長：収支のそれぞれの項目の、経年的な変化や、予算の執行率などは分からないのか？

草野：今後は予算対比など、分かりやすく表示するよう努めます。

6-3. 認定歯科衛生士登録・申請状況（事務局）

事務局より下表の認定歯科衛生士の申請者について報告があった。

No.	申請日	申請者名	申請者住所	勤務先	個人会員	申請書受取	推薦状	訪問実習	セミナー・研修会 受講歴
1	2019.10.18	太田黒里帆	福岡県福岡市	医療法人ハート 樋口矯正歯科クリニック(福岡市)	入会 2019.10 211386	2019.10.22	黒瀬真由美	2019.9 黒瀬	
2	2019.10.18	吉村未佳	福岡県福岡市	医療法人ハート 樋口矯正歯科クリニック(福岡市)	入会 2019.10 211388	2019.10.22			
3	2020.1.15	道広詩織	岡山県浅口市	若林歯科医院(倉敷市)	入会 2019.12 211390	2020.1.15	黒瀬真由美	2020.1 実習 PMJ歯科	
4	2020.1.21	田所麻衣子	茨城県那珂市	てらかど歯科クリニック (茨城県水戸市)	入会 2019.11 211389	2020.3.2	長浦寛子	2018.11長浦	2019東京 基礎編・応用編
5	2020.3.10	古谷光沙恵	岡山県岡山市	しばおかデンタルクリニック (兵庫県赤穂市・非会員)	入会 2019.12 211393	2020.3.25	守屋啓吾		

6-4. 認定医療機関登録・申請状況（事務局）

事務局より、以下の報告を行った。

直近で認定医療機関の登録・申請はなし。セミナー、研修会の受講待ちの方が若干いたが、イベントが中止になったこともあり、申請要件を満たす会員が出て来ていない。

6-5. その他

特に報告は行われなかった。

7. 審議事項

7-1. 理事の推薦について（友藤理事・資料2）

友藤理事：私と小林理事のほうから、河村啓司先生を理事候補として推薦いたします。河村先生は7年以上、歯科医院でつまようじ法を実践されており、私は平成30年のセミナー時にお会いし、つまようじ法をしっかりと実践されているという印象を持ちました。また、大阪の拠点を強化するという点などからもよいのではないかと思います、推薦いたしました。

小林理事：私も何度もお会いしている先生ですが、経験年数が多く認定医療機関にもなられているのと、会員が多い大阪の先生ということで、推薦しました。

以上について、質問・反対意見等はなく、次回総会時に理事候補として諮られることとなった。

7-2. 認定歯科衛生士の承認

今回申請が上がっている5名について、要件を満たしているものとして全員異議なく承認された

7-3. 認定歯科衛生士の更新案について（津野理事・資料3）

津野理事：認定歯科衛生士をできるだけ減らさないようにと考えて検討したが、どれだけ更新してくれるか不安な面はある。

草野：「審査合格した日より5年間有効」とあるが、会員によって更新日がバラバラになると更新手続き等が煩雑になる可能性がある。実際の運用については年度区切りにするなど相談させていただきたい。

津野理事：それは変えてもらって構わない。

黒瀬理事：実務経験証明書はいらぬのでは？諸事情により実務ができない状態の人もあるが、ちゃんと技術は保持しており、そういった人が証明書を出せずに更新できないというのはもったいないのではないか。

津野理事：まったくやってないが免許だけほしいので更新するという人が出る恐れを考えた。

黒瀬理事：それはその歯科衛生士さんの良心に任せればよいのでは？

丸岡理事：私も証明書はないほうがよいと思う。

津野理事：性善説OKならこれは削除しても構わない。文書の2番を削除した形で秋に提出します。

草野：3の技術確認について、証明書の発行が必要ではないか。参加申込があっても当日欠席ということもあり得る。

津野理事：それでは、簡単なものでいいので発行しましょう。

以上の議論により、資料（更新方法 認定委員会案）の2番を削除した形が良いという意見が大勢を占めたので、修正することとした。

7-4. 東京セミナーの開催可否について

理事長：東京でセミナーを開くのは現状難しいと考えているが、いかがでしょうか。場合によっては東京の日程を大阪に置き換えることは考えられるのではないかと。

守屋副理事長：WEB開催は難しいのか？

理事長：実習をどうするかの問題がある。会場で行う場合も、体験を強要しない形もあり得るかもしれない。

山口理事：東京に住んでいる者の意見として、いまのところ参加者も少ない状況であれば、今年の東京開催の回避はやむを得ないかと思う。

宗形理事：今年は東京会場は中止でやむを得ないと思います。

守屋副理事長：無料で、実習無しのセミナーをWEBで開催し、広く多くの方を対象にというのはどうか？

理事長から参加理事の意見を確認し、まずは今年の東京開催を中止にすることについて賛成多数で決定した。また、東京会場の日程で大阪会場にて開催する案について意見を募った。

小林理事：今回大阪でやって、WEBでもやってみるといってもいいのでは？WEB参加もOKという形で。

黒瀬理事：WEB開催の場合、症例写真はどのようにするのかといった問題もあると思うが、私としては底辺を掘り起こすという意味で、丸岡さんにぜひ登場していただきたい。

小畑理事：丸岡さんに講師をしていただくのは賛成です。

木村理事：無料でやるのであれば、その情報をどう広げていくかといったことも考えないといけない。(株)pmjの広告の利用はできるか？

草野：問題ありません。

小畑理事：最近youtubeで歯科ラジオというのを知った。

守屋副理事長：ホワイトクロスにも広告出していますよね。結構見ている人いるみたいで。

楠本理事：私もホワイトクロスいいと思います。

山口理事：会場参加とWEB参加同時にやるのか、分けてやるのか？

黒瀬理事：WEBセミナーは最初は1時間くらいの短いものがよいのではないかと思います。

山口理事：とある総義歯の約8時間のオンラインセミナーを後日配信のアーカイブで2時間ずつくらい視聴した。技術的に可能であれば、後日配信で期限付きで視聴できるようにすると、編集も不要でよいのではないかと。

黒瀬理事：自分が見たいセミナーであれば何時間でも見るかもしれないが、短時間で、少し興味のある人にも見てもらいやすいものから始めたらどうかと思う。例えば丸岡さんの登場しているものだったら見てみようかなということで、それを入口にして参加してもらおうというような。

守屋副理事長：WEB開催だと2時間くらいが限界かもしれない。3時間を超えるとちょっときつい。

理事長より、まずは東京会場の日程で大阪にて開催することについて諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

7-5. 岐阜での総会、研修会の開催について

理事長：今のところ岐阜での開催は可能と考えているが、意見がありますか。

山口理事：全国的なイベントではないので、この時期であれば問題ないと思います。

その他反対意見はなく、岐阜でのイベントは予定通り行う予定で進めることとした。

7-6. 2021年の行事予定について

小畑理事：長崎の中止のいきさつはどうなっているのか？一方的に中止というのはいろいろと動いていた
だいた先方の先生方に失礼はなかったか？

理事長：2020年に長崎で開催するにあたっては、私自身もかなり動いて先方とやりとりを行っており、
事情は熟知している。長崎を中止にする段階で2021年は長野ということが決まっていたので、
長崎は中止にさせていただいた。

黒瀬理事：まだ長崎の先生にはきちんと伝えていない。

草野：3月2日に先方に中止を伝えたが、その後の話は全くできていない。

黒瀬理事：会として、きちんと文書等で、今回の理事会でこのように決まったということをお伝えする必
要があるのではないか。

理事長：先方への連絡については今後考える。

草野：2021年の春は長野として、長崎については集客もできていたこともあり、別の形で開催すること
も検討していただければよいのではないか。

理事長より、2021年のくちフェスはすでに決定していた長野で開催することについて再度諮ったと
ころ、賛成多数にて決定した。

7-7. 訪問指導マニュアルについて（黒瀬理事・長浦理事）

理事長：訪問指導マニュアルの進行具合はどうか。

長浦理事：以前理事会に提案させてもらった文書をもとに、実技に関する内容を文章にすることを考えて
いる。

黒瀬理事：期限を決めてもらえれば長浦さんと頑張って作ります。つまようじ法の症例は入れたいと思う。
歯肉退縮を心配する人が多いので。何例か供出させていただければ。

理事長：10月頃までに作っていただいたらよいのではないか。

津野理事：認定歯科医療機関の訪問実習を受けているので、9月12日までに欲しい。また、別なWEB
を立ち上げて訪問実習研究会をやったらどうか。

7-8. 評議員の新設について（津野理事・資料4）

津野理事より資料にある評議員の新設について提案があった。

理事長：私が理事長を拝命して以来、なかなか各委員会活動が活発化しない現状があった。もう少しスタッフを多くして動かしたらよいのではないかと考えていたところ、津野先生からこのような提案があった。現時点でのイメージでは、評議員を20名から25名程度、理事と合わせて45名くらいで会を運営していけないかと考えている。皆さんのご意見をお聞きしたい。

森田副理事長：委員会と評議委員会とがごちゃ混ぜになっているような気がする。評議員は何かを評議する人だから、何かの決定機関（決定権）が必要。評議員が委員を兼任するというのであれば理解できる。委員会≠評議委員会ということは確認しておく必要あると思います。

理事長：委員会のスタッフとして選ぶ中に評議員がいるという考え方です。

黒瀬理事：委員会活動を活発化させることが目的であれば、まずは理事以外の人にも委員会に入ってもらうことから始めたらよいのではないか。

理事長：次の理事を選ぶためにも、会の中に別の組織が欲しいという面もあります。また、認定医療機関の先生にも評議員に入っていたら、いろいろとメリットが提供できるのではと考えました。

小畑理事：WEBでの会議などもできるようになったので、既存の理事会や委員会を活性化することから始めたらよいのではないか。私自身も委員会活動の内容について把握できていない。また、セミナー委員に黒瀬先生が入っていないのはなぜか？今の状態で評議員を作ることには、会の体力的な面からも、混乱を招くということからも反対です。

理事長：過去のくちフェスで口演をしていただいた先生方に入っていたく場所として考えたという面もあります。

津野理事：一般会員の方にも委員会に入ってもらって良いというのであれば、構いません。理事の枠が空いた時に、評議員がいれば、そこから推薦できればスムーズかと考えて提案した。

理事長より、現時点で評議員を新設するのではなく、一般会員の中からも委員会に入ってもらい、委員会活動を活発化するという事について参加者に諮り、承認された。

黒瀬理事：委員会の再編等もこの場で検討すべきではないか。

津野理事：本を作る委員会も必要ではないか。また、委員会を活性化するためには予算も欲しい。

理事長：分かりました。

7-9. セミナー委員会からの提案（宗形理事・資料5）

宗形理事：会員数の増加と集客を伊佐津先生と考えていた時に、初期の頃のように、黒瀬先生と小畑先生は一緒のセミナーがよいのではないかと考えています。

伊佐津理事：自分がつまようじ法にハマったのが東京のタカラでやったセミナーだったが、午後はドクターで集まって小畑先生の話が聞けたり、衛生士さんは午前中講義を聞いた先生から直接実習をしっかりと受けられたりということで、ボリュームもあり、手応えもあった。基礎と応用と、二つ受講できればいいが、最初のきっかけとして、私自身もよく分からないが行ってみたら凄かったという話で、黒瀬先生と小畑先生の話をも1回で聞けるほうがモチベーションが上がるのではないか。

理事長：これまでのセミナーの講師は理事長のほうで決めていた。今回このような提案をいただいたのは大変ありがたい。2021年までは私が責任を持ってセミナーの展開は考えたいと思っています。今ご提案いただいた内容を一旦理事長が預かるということでよいでしょうか。

小畑理事：WEBでセミナーに関する会議を設けていただきたい。

黒瀬理事：セミナー委員会はもう少し人数を増やして、小畑先生や私も参加させていただければありがたい。

理事長より、この内容はここで採決するというのではないが、発展的に考えて行くということでよいかとの問いかけがあり、参加者の賛同を得た。

7-10. 書籍の発行について（磯崎理事長）

理事長：現在砂書房という出版社に打診している。対象者は歯科医師・歯科衛生士とし、一般向けはその後検討するということがよいか。

参加者より反対はなく、理事長にて次回総会の頃までに詳細を示せるようにしたいとの発言があった。

7-11. 映像コンテンツの制作について（事務局・資料6）

草野より、会員向けに、専門家向けのDVDを配布しているが、2011年制作のものであり、新しい映像コンテンツの制作を検討したい。また、今後制作した動画はネット配信の形態を取りたいということについて資料とともに説明を行った。

制作について反対意見はなく、理事長より、具体的には森田副理事長の意見をお聞きして進める案が示され、森田副理事長の了解を得た。

7-12. その他

草野：4月頃より中国の業者とやりとりを行っており、中国の歯科医師向けにつまようじ法のオンラインセミナーをしたいという打診がある。磯崎先生にご相談したところ、オンラインで不正確な情報が広まってしまうことへの懸念から慎重に進めるべきとのアドバイスをいただいています。コロナが落ち着いた段階で、磯崎先生とつながりのある北京口腔医学院を通じて現地に発信していただくことを考えています。

森田副理事長：簡単にコピーをする国なので、いろんな意味で注意は必要だと思います。

理事長：その他、youtubeの活用等について何かあるでしょうか。

丸岡理事：Youtubeへの登場は私だけでしょうか？

小畑理事：木村先生や宗形先生にも出ていただくと良いのではないかと。

宗形理事：保険制度についての話を動画に残すとリスクがあるのではないかと。

丸岡理事：私の役割は、すそ野を広げるとか、少し興味を持ってもらう（引っ掛ける）というところで、そこから後の黒瀬先生の話で引き込んだり、森田先生からエビデンスに触れていただいたりというところが重要だと思うので、私の話は30分くらいでいいと思います。炎症のある人を血まみれにしている動画とか。

中村理事：理事長へのお願いですが、会のビジョンや、大きな流れが分かりにくい。

理事長：突然理事長になったわけですが、つまようじ法の有効性をいろいろ考えて行くと、セメント質に対する破壊がないことが大きいと感じている。SRPなどでセメント質を破壊すると再付着する場所を奪ってしまう場合がある。これまで歯周病について勉強してきたことを踏まえて、総会の頃までに自分なりの案を考えてみたい。

小林理事：個人的には、WEBで開催する場合は今後午前中の開催を希望します。

理事長：皆様大変長時間ありがとうございました。またよろしく申し上げます。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2020年6月14日

議長

磯崎 篤則



議事録署名人

伊佐津 和朗



議事録署名人

木村 年秀

